

令和2年度 朝日町教育委員会  
事務事業点検・評価報告書  
(令和元年度分)

令和2年8月

朝日町教育委員会

# 目 次

I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について	1
1. 制度の概要及び目的	1
2. 点検及び評価の対象事業	1
3. 点検及び評価の方法	1
4. 学識経験者の知見の活用	1
II. 令和元年度教育委員会活動状況	2
1. 教育委員の選任状況	2
2. 教育委員会会議開催状況	2
3. 教育委員学校訪問	5
4. 各種会議、大会、研修会等への参加	5
III. 外部評価委員の意見	8
1. 総括	8
2. 教育委員会の活動について	8
3. 事務事業の点検・評価について	8
4. 今後の事務事業の企画運営にあたって	8
IV. 点検及び評価対象事業一覧	11
V. 事務事業点検・評価調書	12
整理番号 1 ～ 35	

# I. 朝日町教育委員会事務事業の点検及び評価について

## 1. 制度の概要及び目的

平成 19 年 6 月、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（平成 20 年 4 月 1 日施行）」の一部改正以降、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表しなければならないことになりました。

また、この点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

これを受け町教育委員会では、効率的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすため、令和元年度に行った事務事業について、3 名の外部評価委員（朝日町教育事務評価委員）の意見をいただきながら検証し、その結果を報告書としてまとめることとしています。

### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

**第 26 条** 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

**2** 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2. 点検及び評価の対象事業

令和元年度に実施した朝日町教育委員会所管 35 事務事業のうち、全ての事務事業を対象に点検及び評価を行いました。このため当該年度分の対象率は 100%となっています。また、本年度は第 2 次朝日町教育振興計画の主要施策に関連する事業を選定して、より具体的な意見を外部評価委員からいただきました。

## 3. 点検及び評価の方法

各事務事業については、「必要性」及び「効率性・有効性」の観点で所管課の自己点検及び評価を行い、全ての事務事業について調書を作成しました。この結果に対して、より客観性を確保するために、外部評価委員より意見をいただきました。

## 4. 学識経験者の知見の活用

3 名の学識経験者を外部評価委員として「朝日町教育事務評価委員」に委嘱し、点検及び評価の内容についてご意見をいただき、報告書に反映しました。

### 朝日町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
真 木 吉 雄	元 山形大学大学院教育実践研究科 教授
高 橋 さだ子	有 識 者
菅 井 道 也	有 識 者

## II. 令和元年度 教育委員会活動状況

### 1. 教育委員の選任状況（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

職	氏 名	備 考
教 育 長	小 林 道 和	
委 員	五十嵐 義 一	職務代理者
委 員	井 上 幸 弘	
委 員	村 山 千 鶴	
委 員	橋 間 博 美	

### 2. 教育委員会会議開催状況

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
平成31年 4月24日  定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 区域外就学の許可について ② 平成31年度小中学校職員及び事務局職員事務分担について ③ 平成31年度朝日町校長会活動方針及び研修課題等について ④ 平成31年度朝日町教育研究所運営方針について ⑤ 平成31年度朝日町成人式について ⑥ 第64回山形県縦断駅伝競走大会について ⑦ 平成31年度中学生海外派遣事業の応募状況について
	附議	議第6号 平成31年度朝日町教育支援委員会委員の委嘱について 議第7号 朝日町立中央公民館運営審議会委員(兼)朝日町立中部公民館運営審議会委員及び朝日町立西部公民館運営審議会委員並びに朝日町立北部公民館運営審議会委員の委嘱について 議第8号 朝日町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 議第9号 平成31年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
	協議	1. 学校訪問、あさひ保育園訪問について 2. 教育委員研修会について 3. 令和元年朝日町教育委員会5月定例会の日程について
令和元年 5月22日  定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和元年度西村山地区中学校駅伝競走大会結果について ② 令和元年度朝日町小学校陸上競技記録会の結果について ③ 令和元年度海の子山の子交流事業(海の集い)について ④ 令和元年度教育委員会関係工事等の予定と状況について
	協議	1. 令和元年朝日町教育委員会6月定例会の日程について
令和元年 5月22日 総合教育会議	協議	1. コミュニティ・スクール について 2. 保小中連携一貫教育について 3. 意見交換

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
令和元年 6月20日  定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和元年度NRT検査結果について ② 令和元年度西村山中学校総合体育大会の結果について ③ 令和元年度朝日中学校2年生「職場体験」について ④ 令和元年度中学生海外派遣事業の進捗状況について ⑤ 第22回ひめさゆり俳句大会の実施について ⑥ 町民プールについて
	協議	1. 令和元年度西村山市町教育委員会連絡協議会理事の選出について 2. 令和元年朝日町教育委員会7月定例会の日程について
令和元年 7月25日  定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和元年度朝日町小学校水泳競技記録会の結果について ② 令和元年度朝日町教育研究所夏季研修会について ③ 令和元年度教育支援委員会について ④ 令和元年度小中学校運動会の日程について ⑤ 創遊館空調設備改修工事スケジュールの概要について
	附議	議第10号 令和元年度使用教科用図書採択について 議第11号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
	協議	1. 令和元年朝日町教育委員会8月定例会の日程について
令和元年 8月27日  定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の事項) 2. 報告事項 ① 令和元年度9月補正予算の概要について ② ジュニア駅伝、クロスカントリー大会の結果について ③ 中学校総合体育大会(県・東北・全国大会)のについて ④ 工事等発注状況について ⑤ 全国学力・学習状況調査の結果について
	附議	議第12号 令和元年度朝日町教育委員会事務事業点検・評価(平成30年度分)について
	協議	1. 令和元年朝日町教育委員会9月定例会の日程について
令和元年 9月19日  定例会	報告	1. 教育長委任事項(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和元年度全国学力・学習状況調査及び山形県学力等調査について ② 令和元年度第61回県こども絵画展及び第74回県総合美術展(県美展)入賞・入選について ③ 令和元年朝日町青少年健全育成町民大会について ④ 第36回アップル町民駅伝競走大会について
	附議	議第13号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
	協議	1. 令和2年度実施計画ローリング(R2~4)について 2. 令和元年朝日町教育委員会10月定例会の日程について
令和元年 9月19日	協議	1. 令和2年度実施計画ローリング(R2~4)について 2. 学校給食のありかたについて

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
総合教育会議		3. 意見交換
令和元年 10月23日 定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 令和元年度学力等調査について ② 第36回アップル町民駅伝競走大会の結果について ③ 令和元年度西村山中学校新人総合体育大会の結果について ④ 令和元年度山形県中学校新人総合体育大会（県南ブロック）結果について ⑤ 第55回朝日町芸術文化祭について
	協議	1. 令和元年朝日町教育委員会11月定例会の日程について
令和元年 11月27日 定例会	報告	1. 教育長委任事項の報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 朝日町PTA連合会からの要望書について ② 朝日町校長会からの要望書について ③ 第66回西村山地区駅伝競走大会の結果について ④ 第36回山形県女子駅伝競走大会の結果について ⑤ 第22回「ひめさゆり俳句大会」入選結果について ⑥ 令和元年度第2回学校運営協議会について ⑦ 令和元年度新人体育大会決勝大会の結果について
	附議	議題14号 令和元年度要保護及び準要保護児童生徒の追加認定について
	協議	1. 令和元年朝日町教育委員会12月定例会の日程について
令和元年 12月24日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 朝日町PTA連合会からの要望書への回答について ② 令和元年度朝日町小学校スキー記録会について ③ 令和2年度予算要求概要について ④ 【ホール事業】「百花繚乱シュガーシスターズコンサート」について ⑤ 第33回朝日町生涯学習推進大会について
	協議	1. 令和2年朝日町教育委員会1月定例会の日程について
令和2年 1月23日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 第32回朝日町生涯学習推進大会について ② 令和2年度朝日町小学校合同修学旅行について ③ 第22回朝日町小中学校児童生徒ひめさゆり俳句大会について
	附議	議第1号 令和2年度特別支援学級への就学が必要な児童生徒の決定について
	協議	1. 令和元年度 子どもの芸術文化活動に係る朝日町教育委員会表彰者の決定について 2. 令和2年朝日町教育委員会2月定例会の日程について
令和2年 2月14日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告（日程的な事項・当面の日程） 2. 報告事項 ① 令和2年度朝日町一般会計当初予算について ② 令和元年度朝日町体育協会表彰受賞者について

開催日	議案並びに主な報告・協議案件	
		③ 令和元年度朝日町小学校スキー記録会の結果について
	附議	議第 2 号 朝日町子ども読書活動推進計画について
	協議	1. 朝日町立小中学校の令和元年度卒業式及び令和 2 年度入学式について 2. 令和 2 年朝日町教育委員会 3 月臨時会の日程について 3. 令和 2 年朝日町教育委員会 3 月定例会の日程について
令和 2 年 2 月 14 日 総合教育会議	協議	1. 令和元年度の朝日町の教育の推進について（総括） 2. これからの朝日町の教育の推進について 3. 意見交換
令和 2 年 3 月 9 日 臨時会	報告	1. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う小・中学校臨時休業の実施について
	附議	議第 3 号 令和 2 年度朝日町立小中学校教職員の人事異動内申について
令和 2 年 3 月 20 日 定例会	報告	1. 教育長委任事項報告(日程的な事項・当面の日程) 2. 報告事項 ① 令和 2 年度朝日中学校卒業生の進路先について ② 令和 2 年度学級編成について ③ 令和 2 年度中学生海外派遣事業の募集について
	附議	議第 4 号 令和 2 年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について 議第 5 号 令和 2 年度朝日町立小中学校の校医等の委嘱について
	協議	1. 令和 2 年度朝日町学校教育・社会教育の重点について 2. 令和 2 年朝日町教育委員会 4 月定例会の日程について

### 3. 教育委員学校訪問

年 月 日	実 施 校	内 容
令和元年 6 月 11 日	朝日町立西五百川小学校	①学校経営概要説明、懇談 ②授業参観並びに校舎等巡回 ③教職員・教育委員紹介 ④学校経営へのアドバイス
令和元年 6 月 12 日	朝日町立朝日中学校	
令和元年 6 月 18 日	朝日町立宮宿小学校	
令和元年 6 月 21 日	朝日町立大谷小学校	

※ 上記以外に町立学校の「授業研究会（26 回）」に教育委員の参加を可能とし、また教育長及び事務局職員も参加または助言者として参画した。

### 4. 各種会議、大会、研修会等への参加

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
平成 31 年 4 月 1 日	町辞令交付式	開発センター	教育長
平成 31 年 4 月 1 日	朝日町教職員辞令交付式	創遊館	全員
平成 31 年 4 月 6 日	各小中学校入学式	各小中学校	全員
平成 31 年 4 月 29 日	朝日町成人式	創遊館	全員

年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
令和元年 5 月 13 日	第 1 回学校運営協議会	創遊館	全員
令和元年 5 月 15 日	小学校陸上競技記録会	西小グラウンド	全員
令和元年 5 月 28 日	第 1 回西村山教科書検討協議会	寒河江市	村山委員
令和元年 5 月 29 日	朝日町教育研究所全体会	創遊館	教育長
令和元年 6 月 1 日	西五百川小学校相撲大会	西小相撲場	教育長
令和元年 6 月 20 日	保育園参観（保小中連携事業）	あさひ保育園	全員
令和元年 6 月 28 日	西村山市町教育委員会連絡協議会	大江町	全員
令和元年 7 月 3 日	小学校水泳競技記録会	町民プール	全員
令和元年 7 月 16 日	第 2 回西村山教科書検討協議会	寒河江市	村山委員
令和元年 7 月 31 日	教育研究所教育講演会	創遊館	全員
令和元年 8 月 2 日	山形県市町村教育委員大会	酒田市	全員
令和元年 8 月 2 日 ～3 日	朝日町教育委員研修	酒田市ほか	全員
令和元年 8 月 9 日	校長・教頭合同研修会	創遊館	全員
令和元年 9 月 1 日	朝日中学校体育祭	朝日中	全員
令和元年 9 月 7 日	西五百川小学校運動会	西小グラウンド	教育長、井上委員
令和元年 9 月 7 日	大谷小学校運動会	大谷小グラウンド	五十嵐委員
令和元年 9 月 8 日	宮宿小学校運動会	宮小グラウンド	教育長、村山委員、 村山委員
令和元年 10 月 13 日	第 36 回アップル駅伝競走大会 （台風の影響により中止）		
令和元年 10 月 26 日	朝日中学校文化祭	朝日中	全員
令和元年 11 月 3 日	朝日町芸術文化祭	創遊館他	教育長
令和元年 11 月 9 日	あさひ国際交流推進フォーラム	創遊館	全員
令和元年 11 月 29 日	青少年育成町民大会 あさひ教育の日講演会	創遊館	全員
令和元年 12 月 21 日	朝日自然観スキー場開き	自然観スキー場	教育長
令和 2 年 1 月 6 日	町辞令交付式	開発センター	教育長
令和 2 年 1 月 24 日	大谷小学校総合学習発表会	大谷小	教育長



年 月 日	会議、大会等名	場 所	出 席 者
令和2年2月5日	小学校スキー記録会	自然観スキー場	全員
令和2年2月6日	町長学校訪問	西小、朝日中、大谷小	教育長
令和2年2月12日	町長学校訪問	宮宿小	教育長
令和2年2月23日	生涯学習推進大会	創遊館	全員
令和2年2月26日	第3回学校運営協議会	創遊館	全員
令和2年3月16日	朝日中学校卒業式	朝日中学校	全員
令和2年3月18日	各小学校卒業式	各小学校	全員
令和2年3月31日	町退職者辞令交付式	開発センター	教育長

### Ⅲ. 外部評価委員の意見

#### 1. 総 括

外部評価とは、自己点検による内部評価の妥当性を評価するものである。具体的な作業では、事務局作成の調書とヒアリングをもとに、各事業における目的、実施状況、予算・決算額、成果と課題及び方向性の整合性と妥当性を中心に意見を具申することを主眼としている。加えて、事業の流れが効率的でPDCAサイクルに沿ったものになっているか、必要不可欠で有効性の高い事業なのかという点からも見せていただいている。

こうした観点で見ると、第一に、予算・決算額の項目のうち、差引額が大きい事業が目立った。より透明性が高い自己評価にするためにも、執行率が低くなった理由を明示するなど表記内容を見直すことが必要である。第二として、教育研究所費と教育振興費、整備事業費と管理費、公民館事業費と自治公民館事業など同一事業が複数科目にまたがっているものがある。関連性の高い事業については、一事業だけの評価にとどまらず科目間を総体的に評価することが求められる。

以上、改善していただきたい二つの例をあげたが、全体的に分かりやすい調書であることには変わりがない。これまで行ってきた事務事業点検・評価の成果を生かしながらも、可能なところは積極的に改善していくよう努力されることを期待する。

#### 2. 教育委員会の活動について

令和元年度の後半には新型コロナウイルス感染症対策に伴い臨時休校を余儀なくされるなど、地方の学校教育にも大きな影響が生じたが、臨時教育委員会を即時に開催し対応したことは評価すべきである。影響が年度をまたいでいることもあり、今後とも朝日町の教育の振興が停滞することなどないよう、独立行政委員会として与えられた権限を再確認しながら協議を進めるとともに、独自性をもった対処がなされることを切に願うものである。

#### 3. 事務事業の点検・評価、今後の企画運営について

##### (1) 全体

- 昨年度は35の事務事業が執行され、多くの成果と課題があった。一つひとつの事務事業に取り組むとき「何のために」という事業の目的に照らし合わせながら執行することが行政では大切なことである。壁に当たったときは、いつでも初期の目的に立ち返りながら、さらに前進されることを希望する。
- 人口減少や少子高齢化が進む中、これまでの事業を整理統合し見直すことが必要である。新型コロナウイルス感染症の影響により事業展開できない今こそチャンスと捉え、前向きに取り組んでいただきたい。

##### (2) 学校教育関係

###### ① 教育委員会費

- 総合教育会議が、年度当初計画の提示確認、中間検討、年度末総括という3ステップを踏んで、例年5月、9月、3月に実施されていることは極めて望ましいことである。

###### ② 教育委員会事務局費

- コミュニティ・スクールの推進にあたっては、学校運営協議会で行われた熟議内容が、学校運営に着実に反映するよう全教職員の意識の高揚を図っていくことが求められる。

### ③ 奨学金貸与事業費

- 返還金滞納者の増加は、今後の運営に大きく影響してくる。過年度滞納者を増やさないためには、現年度分の納付が確実に行われるように対処していくことである。未納の要因を確認するとともに丁寧な返還請求を行うことが必要である。
- 手続きに学生本人を立ち合わせることで返済義務の認識を促すなど、初期対応のあり方についての再検討が必要である。
- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による低景気でさらに滞納が増加することが懸念されるため、返済の猶予策等を講じることも検討していく必要がある。
- 貸与事業から給付事業への転換の模索を望む。

### ④ 教育研究所費

- 保小中連携一貫教育のうち、特に保育所と小中学校の連携について、現時点で抱える問題点や課題を明示することが望まれる。
- 新型コロナウイルス感染症対策により朝日町では令和2年3月2日から休校の措置が取られ、各学校においては四苦八苦の思いで児童生徒への対応に当たられたことと推察する。その間ニュースなどでよく目にしたのがオンライン授業を行う先生と児童や生徒の姿である。教える方も習う方にも好評でわかりやすいとの反応があり、パソコンやタブレットの貸し出しが行われている自治体もあったようだ。これらを目にして思ったことは「取り組んでいるところとの格差」である。
- 国の進めるGIGAスクール構想に対応するICT教育を推進するためには、教師の研修機会が必須でありストレスのない大容量のネット環境等様々な整備が必要となる。児童生徒が社会に羽ばたくときICTの活用は不可欠になっていることであろう。また教師の負担も様々な場面で軽減され働き方改革に貢献することが期待されているようだ。是非強力に押し進めてほしい。
- 働き方改革は、会議の日数を減らすだけでなく、例えば学習指導補助員など教育現場で働く人を増やすことも負担軽減に向けた大きな要因となる。

### ⑤ 小学校管理費、中学校管理費

- 空調設備の設置によって電気料の増加が見込まれる。学校に合わせた使用マニュアルを作成するなど、無駄のない活用がなされるよう対処していく必要がある。

### ⑥ 小学校教育振興費、中学校教育振興費

- 障がいを持つ特別な支援が必要な児童の保護者に対し情報を共有する場、保護者の理解を得る場の設定を行うよう検討すべきである。
- 不登校等の子どもたちには県のスクールカウンセラー事業の活用だけでは不十分と思われ、相談員を増員するなど町教育委員会として独自の取り組みが望まれる。
- 不登校対策は最終的に学校生活への復帰が目標となるが、その前段として取り組むべきことがいくつか考えられ、それらが確実に対応できるような環境を整えることが望まれる。

### ⑦ 外国語活動事業費

- 英語教育の充実強化のためにALTを2人体制にしたことは時宜を得た取り組みといえる。CAN-DOリストの作成・活用とともに、今後独自の成果があげられることを期待する。

## (3) 生涯学習関係

### ① 文化財保護費

- 町指定文化財の保存整備事業については、所有者の意向を丁寧に確認したうえで、他市町の事例を参考に新たな形での保存方法を模索しながら協議を進めてほしい。
- 「朝日町ふるさと文化財制度」の周知の仕方に工夫が必要と考えられる。

② 中央公民館事業費、西部公民館事業費、北部公民館事業費

- 人口減少に伴って、これまで以上に地域の活性化が求められるようになり、公民館事業への期待感が増してくるものと思われる。地域活動の充実が図られるよう自治公民館とのより一層の連携が求められる。このことを考慮して事業の方向性を示す必要がある。
- 参加者の固定化に対応する策が明確ではない。新たな参加者の獲得のためには、現在行っている事業の見直しや新規事業の立ち上げなども必要である。

③ 放課後子どもプラン事業費

- 放課後児童クラブと放課後子ども教室の一体的な実施の推進等により、小学校に就学している児童の安全・安心な居場所の確保を推進するとともに、今般の新型コロナウイルス感染症対策の対応にあたっては、これまで以上に教育と福祉が連携し、子どもたちの居場所を確保することが求められる。

④ つながり育てる人材育成事業

- 第2次教育振興計画を代表する事業の一つであるが、今後の継続性に不安が残る。PR活動のみならず発展性のある事業を新規に立ち上げるなど、再検討が必要である。

⑤ 保健体育総務費

- 人口減少社会において、行政主導による町民参加型のイベント事業には限界が生じやすいのが現状である。民間企業であるミズノとの連携事業は、新たな視野に立った内容のイベントが実施されており、参加者拡大にもつながっている。今後も継続して取り組んでいくことが望まれる。
- 評価の中でスポーツ環境整備の必要性を認めていることから、既存施設の活用や用具等の整備のみならずより具体的な見直し策を示す必要がある。

#### IV. 点検及び評価対象事業一覧

事務事業名	担当課・係	整理番号
教育委員会費	教育文化課学校教育係	1
教育委員会事務局総務費	教育文化課学校教育係	2
教育委員会奨学金貸与事業費	教育文化課学校教育係	3
教育研究所費	教育文化課学校教育係	4
廃校管理費	教育文化課学校教育係	5
小学校管理費	教育文化課学校教育係	6
中学校管理費	教育文化課学校教育係	7
小学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	8
中学校保健衛生費	教育文化課学校教育係	9
小学校遠距離通学費	教育文化課学校教育係	10
中学校スクールバス運行費	教育文化課学校教育係	11
小学校整備事業費	教育文化課学校教育係	12
中学校整備事業費	教育文化課学校教育係	13
小学校教育振興費	教育文化課学校教育係	14
中学校教育振興費	教育文化課学校教育係	15
外国語活動推進事業費	教育文化課学校教育係	16
小学校給食費	教育文化課学校教育係	17
中学校給食費	教育文化課学校教育係	18
社会教育総務費	教育文化課生涯学習係	19
文化財保護費	教育文化課生涯学習係	20
町史編さん費	教育文化課生涯学習係	21
青少年健全育成推進事業費	教育文化課生涯学習係	22
自治公民館整備事業費	教育文化課生涯学習係	23
中央公民館事業費	教育文化課生涯学習係	24
西部公民館事業費	教育文化課西部公民館	25
北部公民館事業費	教育文化課北部公民館	26
創遊館管理費	教育文化課生涯学習係	27
西部公民館管理費	教育文化課西部公民館	28
北部公民館管理費	教育文化課北部公民館	29
放課後子どもプラン事業費	教育文化課生涯学習係	30
つながりで育てる人材育成事業	教育文化課生涯学習係	31
図書館費	教育文化課生涯学習係	32
文化振興費	教育文化課生涯学習係	33
保健体育総務費	教育文化課生涯学習係	34
体育施設管理費	教育文化課生涯学習係	35

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育委員会費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	01	教育委員会費

## 2. 事業の目的

事業の目的	教育委員会定例会を原則月1回開催し、学校教育、社会教育の課題を協議、調整、意思統一を図る。 学校訪問を通して、常に教育の現場を把握し適切な指導助言を行う。
-------	--

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員 5人</li> <li>・定例教育委員会 12回開催、臨時会 1回開催、附議事件 14件</li> <li>・総合教育会議 3回開催</li> <li>・西村山市町教委連絡協議会総会・研修会（大江町）6/28</li> <li>・山形県市町村教育委員大会（酒田市）8/2</li> <li>・教育委員視察研修（庄内地区）8/2～8/3</li> <li>・各校学校訪問 西小6/11、宮宿小6/18、大谷小6/26、朝日中6/12</li> <li>・各種事業への参加（教職員辞令交付式、入学式、小体連陸上・水泳・スキー記録会、小学校運動会、生涯学習大会、卒業式 他）</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,423,000	決算額	1,320,734	差引額	102,266
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○先進地視察や他教育委員会との交流などにより、当面する様々な課題に関する情報共有と認識を新たにすることができた。また、定例会などにおいて、町の実情に即した課題を協議題として設定することにより、より充実した会議にすることができた。</p> <p>○総合教育会議を3回開催し、町長と教育委員会との情報共有を図ることができた。</p> <p>○教育研究所の事業と連携しながら学校を訪問し、学校の現状把握と情報共有ができた。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員の更なる資質向上のため、定例会等を利用して町独自研修を継続して実施するとともに、今後も時宜を得たテーマを考えながら議論が深まるよう工夫していく。</li> </ul>
---

# 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

事務事業名	教育委員会事務局費
-------	-----------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

## 2. 事業の目的

事業の目的	適切な学校運営に必要な各種事務を行う。 第6次朝日町総合発展計画及び第2次朝日町教育振興計画に基づいた事務の執行を行う。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務事業点検・評価（外部評価委員3人） 評価委員会2回開催、9月一般公開</li> <li>・第22回小中学生ひめさゆり俳句大会（403人、1,028句）</li> <li>・令和元年度入学児童（42人）を対象に就学時健診（10/2）を実施 内科健診、眼科、耳鼻科、歯科、聴力、視力、知能検査</li> <li>・教育支援委員会を3回開催</li> <li>・県費教職員健康診断（全員受診）</li> <li>・生活キャンペーン・・・あさひ教育の日関連事業で実施「講演会・チラシの配布」</li> <li>・スクールガードリーダー1人を配置し、パトロールを実施。（年間46日）</li> <li>・臨時職員（事務補助）を1人配置</li> <li>・地域活動推進員（コーディネーター1名、西小1名）を配置</li> <li>・各学校をコミュニティ・スクールに指定し、学校運営協議会を3回開催。（5/13, 10月中, 2/26）</li> <li>・コミュニティ・スクール先進校視察。（川西町立犬川小、大石田小、大石田北小、舟形中）</li> <li>・学校運営協議会委員を対象に年1回研修会を開催。 2/26 演題「コミュニティ・スクールは『ひとづくり』のできる『ことづくり』」 講師 文部科学省CSマイスター 布川 元 氏</li> <li>・【予算と決算の差引額が多い理由】少雪により通学路安全確保のための除雪委託料の減</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	8,200,000	決算額	7,240,220	差引額	959,780
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○第2次朝日町教育振興計画に基づく実施計画の作成と目標値の管理を行っている。目標値に対して達成率の低い項目についてその要因を協議し、具体的な施策につなげることができた。</p> <p>○地域活動推進員を配置し、学校と地域が連携できるよう調整を行い地域学習をスムーズに行うことができた。</p> <p>○学校運営協議会では毎回熟議を行い、学校の今の課題や育てたい児童生徒像などの情報共有を行っている。また、その内容をコミュニティ・スクール通信を発行し町民へ広く周知することにより、地域と学校の連携・協働の意識の高揚に徐々につながっている。</p> <p>○「いじめ防止基本方針」に基づき「いじめ問題対策連絡協議会」において、いじめの実態を共有し、学校と関係機関が連携していじめ防止に当たった。また、学校においては、日常的な児童生徒の細やかな観察や定期的なアンケート調査により早期発見・迅速対応を行うことにより、いじめ解消率の高さにつながった。</p> <p>△学校運営協議会と地域学校協働活動の連携・協働を推進していく。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次朝日町教育振興計画に基づいた目標値が達成したか否かは施策の大きな目安となることから、達成率の低い項目については継続して協議を行い、関係機関と連携しながら目標値達成に努めていく。</li> <li>・就学時健診日程は1日とし、学校医の検診時間や児童の移動の時間を考慮した体制づくりを行う。</li> <li>・教職員の「働き方改革」を推進するために、校務支援ソフト等の導入を検討し、事務的な業務の軽減につなげる。</li> <li>・地域学校協働本部を設置し、地域と学校の連携・協働を強化し、コミュニティ・スクールを推進していく。</li> <li>・いじめ防止等のために、学校と関係機関との連携、日常的な児童生徒の観察と定期的なアンケート調査、学習生活指導員等の適切な配置を継続していく。</li> </ul>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	奨学金貸与事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	02	事務局費

## 2. 事業の目的

事業の目的	高等学校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校に修学する者のうち学費の支弁が困難と認められる者を支援するため、その修学に必要な資金を貸与する。
-------	--

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・お知らせ板による周知 (2月)</li> <li>・奨学金貸与申請者の審査会 6/13 (新規貸与者5人)</li> <li>・貸与件数 13件 R1 貸与額 5,520,000円</li> <li>・返還件数 63件 R1 定時返還請求金額 11,410,350円</li> <li>・滞納件数 16件 3,147,750円 <ul style="list-style-type: none"> <li>内訳 現年度未納額 728,250円</li> <li>滞納繰越額 2,419,500円</li> </ul> </li> <li>・年度末基金残高 101,429,798円 <ul style="list-style-type: none"> <li>うち 現金 30,297,348円</li> <li>貸付金 71,132,450円</li> </ul> </li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	237,000	決算額	224,313	差引額	12,687
-----	---------	-----	---------	-----	--------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○貸与、返還業務については、ほぼ計画どおり処理できている。</p> <p>○奨学金システムを活用することで効率的な管理ができている。</p> <p>△滞納については昨年度より新規の滞納者が増加しており、さらなる滞納対策が必要となっている。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・返還方法については、引き続き返還計画を提出してもらい無理のない返還となるよう努めていく。(月賦払い、半年賦払い、年賦払い)</li> <li>・滞納者には、督促通知及び電話、自宅への訪問等を実施し返還請求を行う。それでも滞納が続く場合には、連帯保証人との話し合いの機会をつくることを検討していく。</li> </ul>
---



## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	教育研究所費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	01	教育総務費
	目	03	教育研究所費

## 2. 事業の目的

事業の目的	教職員の資質向上を図る。
-------	--------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の各部会における研修、研究、全体研修 課題研究部会（地域連携推進14人、特別支援教育19人、外国語教育10人、ICT教育16人）を2回開催 校務研究部会（養護教諭部会5人3回開催、事務職員部会5人4回開催） 学力向上委員会 10人 2回開催 子育て生徒指導部会 21人 2回開催 読書活動推進委員会 13人 3回開催 保小中連携推進部会 15人 2回開催 教育講演会 講師：山形大学教授 野口 徹氏「カリキュラムマネジメントについて」 町めぐり 赴任1・2年目の教職員 8/2 参加者22人（沢内・上郷・南西部）</li> <li>・第2次朝日町子ども読書活動推進計画策定</li> <li>・朝日町教育委員会指定研究校 西五百川小学校2年次 負担金15万円</li> <li>・NRT検査、知能検査（4月）、CRT検査（1月）、Q-Uアンケートを公費負担で実施。</li> <li>・教育研究所所報（第22号）を発刊（事業の経過を掲載）</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,383,000	決算額	1,262,567	差引額	120,433
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○教職員の資質向上に資するための研究機関としての意義は大きいものがある。学力向上に関して、学力検査（NRT）や全国学力・学習状況調査の課題共有と今後の取組など、具体的な数値をもとにしながら指導改善に取り組むことができた。また、学社連携やいじめ防止対策を担う「子育て生徒指導部会」は、今後も継続していくことが重要である。</p> <p>○学力向上委員会では、授業改善や指導力向上について、教職員の研修、学校研究についての情報交換ができています。また、各校の取り組みを情報交換・共有し、小中連携を意識して今後も継続していくことが大事である。</p> <p>○「子育て生徒指導部会」では、『育てよう生きる力』～地域とのかかわりを広げよう～の推進をテーマに、学校・PTA・保育園・公民館等での活動などを情報交換することができた。「あさひ教育の日」の連携事業として生活キャンペーンの講演会を児童生徒を対象に実施した。科学的なデータを交えながら「早寝・早起き・朝ごはん」について深く学ぶことができた。</p> <p>○外国語教育部会で、保小中連携・一貫の視点から、12年間を見通した「英語CAN-DOリスト」を作成し、新学習指導要領完全実施に備えることができた。</p> <p>○ICT教育部会の中でICT機器の活用促進を話し合い、各校でデジタル教科書や大型テレビ等の活用が推進された。またプログラミング教育に関する研修も行った。</p> <p>○教員の働き方改革の視点から会議の日数を減らした。</p> <p>△保小中連携・一貫教育の視点から、保育士と教員の合同研修会を年1回開催している。特に保育士の研修の機会を増やすために、小・中学校の授業研究会なども参観できる体制を整えていく必要がある。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上委員会で各校の学校研究や授業改善等、学力向上対策についての研修・情報交換を行い、指導力向上に向けて今後も取り組んでいく。（令和2年度は教務主任会がその機能を担い、継続的に話し合っていく。）</li> <li>・社会に開かれた教育課程のため、生活科、総合的な学習を中心としたカリキュラムマネジメントの研修を充実させる。また、生活科や総合的な学習等の授業研究会の案内を、あさひ保育園にも送付する。</li> <li>・GIGAスクール構想による一人一台端末の時代に対応するためICT教育に関わる研修を充実させる。</li> <li>・学社連携を担う「子育て生徒指導部会」や保小中連携一貫教育を担う「保小中連携推進部会」は今後も継続していく。また、「あさひ教育の日」の活動と連動させるため、テーマの見直しを検討していく。</li> <li>・教職員の負担が増えないように教育研究所の組織や研修内容等を見直し、教職員の「働き方改革」をさらに推進する。</li> </ul>
--

# 事務事業点検・評価調書

5

## 1. 事務事業名

事務事業名	廃校管理費
-------	-------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	旧小学校施設を利用する町民の利便性確保のため、日常の維持管理を行う。
-------	------------------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃校（旧立木小、旧大沼分校）の管理 維持費として、電気料923,668円、水道料65,155円</li> </ul> <p>【現在の使用状況】</p> <p>旧立木小：立木研修センターとして青少年活動やスポーツ少年団等の町民や各種団体が利用 年間を通して、4人の芸術家がアトリエとして、制作活動のため使用</p> <p>旧大沼分校：校舎の一部（主に1階）を、大沼区が大沼公民館として利用 民具の収納場所として2階の部屋を使用（民具の管理は生涯学習係）</p>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,305,000	決算額	989,073	差引額	315,927
-----	-----------	-----	---------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

○地域住民や町内の各種団体等が利用する際の安心と安全に配慮して、施設設備の保守点検等を実施した。結果、利用に支障が生じていない。
--

## 6. 事業の方向性

・使用に支障がないよう適切な維持管理を行っていく。
---------------------------

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	児童の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいる施設があるものの、法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施</li> <li>・ 光熱水費、通信運搬費について月別状況を各校に通知し、節電、節水等を指導</li> <li>・ リフト点検、ボイラー点検、プール保守点検実施</li> <li>・ 【予算と決算の差引額が多い理由】 エアコン導入の初年度なので、エアコンに係る電気料に余裕を持たせて予算計上したため。</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	19,843,000	決算額	17,854,478	差引額	1,988,528
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種点検を実施し、適正な管理ができた。</li> <li>○光熱水費は、各学校に対して定期的に利用状況を通知し、節電、節水等を呼びかけた結果、前向きな取り組みにより経費削減に効果が出ている。</li> </ul>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。</li> <li>・ 節電、節水等の呼び掛け及び設置したエアコン使用については省電力化も含めて今後も継続して実施する。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	生徒の安全確保と適切な学校運営のため適切な維持管理を行う。
-------	-------------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築後の経過年数により老朽化が進んでいるものの法令等に基づく各種保守点検や日常点検を実施</li> <li>・ 光熱水費、通信運搬費について月別状況を通知し、節電・節水を指導</li> <li>・ 臨時職員（事務補助）を継続して1人配置</li> <li>・ 【予算と決算の差引額が多い理由】 エアコン導入の初年度なので、エアコンに係る電気料に余裕を持たせて予算計上したため。</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	12,270,000	決算額	8,633,758	差引額	3,636,248
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種点検を実施し、適正な管理ができた。</li> <li>○光熱水費は、中学校に対して定期的に利用状況を通知し、節電、節水等呼びかけた結果、前向きな取り組みにより経費削減に効果が出ている。</li> </ul>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう管理を行う。</li> <li>・ 節電、節水等の呼び掛け及び設置したエアコン使用については省電力化も含めて今後も継続して実施する。</li> </ul>
---

# 事務事業点検・評価調書

8

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や児童自身の健康維持に対する意識を高めることにより、児童が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医5人、薬剤師2人を委嘱し、各種健診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施</li> <li>・山形県成人病検査センターへ各種検査(ぎょう虫、尿、貧血、心電図)を委託</li> <li>・学校での集団健診を実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施</li> <li>・児童の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び各学校保健委員会を中心に啓発指導を実施</li> <li>・学校保健委員会の開催 西小6/18、宮小7/9、大谷小7/11</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,525,000	決算額	2,258,126	差引額	266,874
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価(成果と課題)

○集団健診未受診者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の健診が終了できた。
--

## 6. 事業の方向性

・未受検者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。
---------------------------------

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校保健衛生費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	病疾患の早期発見や生徒自身の健康維持に対する意識を高めることにより、生徒が元気に学校生活を送れるようにする。
-------	--

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校医4人、薬剤師1人を委嘱し、各種健診(内科、歯科、耳鼻科、眼科)を実施</li> <li>・山形県成人病検査センターへ各種検査(尿、貧血、心電図)を委託</li> <li>・学校での集団健診を実施 欠席者に対しては町内の学校医は個別健診、寒河江市の学校医は教育委員会で引率し実施</li> <li>・生徒の日常における健康管理や安全については、校医の指導の下、養護教諭及び学校保健委員会を中心に啓発指導を実施</li> <li>・学校保健委員会の開催 7/10</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	1,360,000	決算額	1,223,665	差引額	136,335
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価(成果と課題)

○集団健診未受診者に対して、教育委員会で引率したことにより早期に全員の健診が終了できた。
--

## 6. 事業の方向性

・未受診者については、早期に健診できるよう継続して対応を行う。
---------------------------------

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校遠距離通学費
-------	-----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学児童に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

## 3. 事業の実施状況

<p>遠距離から通学している児童数 65人 (25%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス運行による通学 (三中線：臨時職員 和合線・上郷線：業者委託) 立木・太郎地区4人、三中地区6人 (冬期下校4人)、上郷地区17人、和合地区17人、沢内地区7人、大暮山3人(立木、上郷、和合、大暮山の登校は中学校スクールバスを利用)</li> <li>・タクシー運行による通学 (業者委託) 立木方面 (下校)、和合平 (登校) 1人、沢内方面 (下校)、雪谷 (登下校) 2人 大暮山 (下校)、赤釜 (登下校) 1人、沼ノ平 (下校、冬期間登校) 4人、中沢 (冬期下校) 3人</li> <li>・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。</li> <li>・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品交換など修繕には万全を期している。</li> <li>・【予算と決算の差引額が多い理由】3月の新型コロナウイルス感染症対策のため、小学校の臨時休業に伴いスクールバス及びタクシー運行の減少による。</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	10,016,000	決算額	7,846,661	差引額	2,169,339
-----	------------	-----	-----------	-----	-----------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○家庭、学校、教育委員会の連携のもと2月までは計画どおりの運行ができた。</p> <p>○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。</p> <p>○遠距離通学の対象児童が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。</p> <p>△近年の児童生徒数の減少に伴い、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ安全策を随時見直す必要がある。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。</li> <li>・臨時職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。</li> <li>・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。</li> <li>・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。</li> <li>・少子化、車社会、防犯上など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区の拡大もやむを得ない状況となっているが、体力面や拡大に伴う地区間の不公平感も考慮し、運行方針及び利用基準を検討していく。</li> </ul>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校スクールバス運行費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	遠距離通学生徒に年間を通した安全な通学を確保する。
-------	---------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠距離から通学している生徒 81人 (55%)</li> <li>・スクールバス3台運行 松程線 臨時職員 (11人、冬期は能中・川通5人) 大沼線 臨時職員 (0人、(下校時のみ4人、冬期下校のみ10人/登校時は小学生のみ乗車)) 立木線 臨時職員 (3人、冬期のみ5人) 上郷線 業者委託 (4人、冬期下校のみ1人) (小学生と同乗) 和合線 (5人) 業者委託 (小学生と同乗/下校は大沼線)</li> <li>・スクールタクシー和合平線 (1人、下校は大沼線)</li> <li>・山交バス (北部地区31人、冬期間大隅2人、冬期間登校和合地区11人)</li> <li>・運行については、運転手と打合せや講習会を行い安全運行に努めている。</li> <li>・車両の老朽化に伴い安全運行維持の面から部品交換など修繕には万全を期している。</li> <li>・【予算と決算の差引額が多い理由】3月の新型コロナウイルス感染症対策のため、中学校の臨時休業に伴い通学と春休みの部活動もなくなりスクールバス及びタクシー運行の減少による。</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	19,300,000	決算額	15,950,035	差引額	3,349,965
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭、学校、教育委員会の連携のもと2月までは計画どおりの運行ができた。</li> <li>○スクールバスの定期点検を適切に行い安全な運行ができた。</li> <li>○遠距離通学の対象生徒が毎年変化しているため、運行体制の編成が複雑になっているが、状況を勘案した編成を行いスムーズな運行ができた。</li> <li>○部活動での大会や練習試合等でもスクールバスを利用しており、送迎に係る保護者の負担軽減ができた。</li> <li>○平成30年度から冬期間下校のみ乗車していた地区を冬期間の登下校乗車に変更した。</li> <li>△近年の児童生徒数の減少に伴い、通学の防犯上の安全面への配慮等も踏まえ安全策を随時見直す必要がある。</li> </ul>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全運行のため、スクールバスの定期点検や更新を適切に行う。</li> <li>・臨時職員の運転手に対して、県等が主催する研修への参加や、警察等による安全教育を行う。</li> <li>・災害発生時等において関係機関と情報を共有し、通行可能な路線の確認を行うとともに、学校・保護者・スクールバス運転手と連絡を密にして安全な通学を確保することを基本として実施していく。</li> <li>・地区別の児童生徒数や通学体制などを総合的に判断し、効率的な運行計画を立てる。</li> <li>・少子化、車社会、防犯上など子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、スクールバスの利用対象地区の拡大もやむを得ない状況となっているが、体力面や拡大に伴う地区間の不公平感も考慮し、運行方針及び利用基準を検討していく。</li> </ul>
--



# 事務事業点検・評価調書

12

## 1. 事務事業名

事務事業名	小学校整備事業費
-------	----------

所管課・係 教育文化課学校教育係

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託関係 空調設備設置工事設計単価見直し業務 495,720 円 空調設備設置工事監理 2,450,000 円</li> <li>・工事関係 空調設備設置工事 112,480,000 円</li> </ul> <p>平成 30 年度からの繰越分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備設置工事 (R1.7.5 完成検査) 工事費 116,580,000 円のうち完成払 69,948,000 円、監理費 3,504,000 円</li> <li>・備品購入 食器洗浄機(大谷小)1,188,000 円 耕運機、カラープリンター、職員室イスなど</li> </ul> <p>他、各小学校へ小規模修繕の予算配当</p>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	124,654,000	決算額	122,821,929	差引額	1,832,071
-----	-------------	-----	-------------	-----	-----------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。</p> <p>○夏の暑さ対策として全教室へのエアコンを設置し、冷暖房ともにエアコンを使用している。</p> <p>△西五百川小学校校舎 (S54)、宮宿小学校校舎 (S55)は建築年が古く、老朽化が進み改修計画の策定が必要である。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。</li> <li>・西五百川小学校校舎、宮宿小学校校舎の改修については、町の実施計画 (3 年間) に計上し、関係部局との連携を図りながら確実に実施できるよう取り組んでいく。(空調、油管、水道、排水管等)</li> <li>・当面の方向性としては、経費の抑制を考慮し、新築ではなく改修による施設の長寿命化を図っていく。</li> </ul>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校整備事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	01	学校管理費

## 2. 事業の目的

事業の目的	安全で安心して授業が受けられる施設の整備を行う。
-------	--------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託関係 グラウンド簡易トイレ維持管理 154,440 円、空調設備設置工事設計単価見直し業務 165,240 円 空調設備設置工事監理 1,384,000 円 教育用パソコン OS 変更業務 1,497,960 円</li> <li>・工事関係 空調設備設置工事 63,560,000 円</li> </ul> <p>平成 30 年度からの繰越分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備設置工事 (R1.7.5 完成検査) 工事費 81,060,000 円のうち完成払 48,636,000 円、監理費 2,436,000 円</li> <li>・備品購入 職員室プリンター 2 台、加湿器 2 台</li> </ul> <p>他、中学校へ小規模修繕の予算配当</p>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	69,150,000	決算額	68,594,162	差引額	555,838
-----	------------	-----	------------	-----	---------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○学校と連携しながら不良箇所の修繕を行い、適切な施設管理ができた。</p> <p>○夏の暑さ対策として全教室へのエアコンを設置し、冷暖房ともにエアコンを使用している。</p> <p>△校舎、体育館は平成 22 年度に耐震工事が終了し、併せて内壁、外壁等主要な部分も大規模改修を行ったが、建築年が昭和 51 年と古く設備面を中心に老朽化が進み改修計画の策定が必要である。</p> <p>△屋外部活の部室が目が届かないところにあり、老朽化もしていることから改築する必要がある。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、安全・安心で快適な施設となるよう整備を行っていく。</li> <li>・平成 29 年に実施した劣化調査を基に老朽化している施設・設備を計画的に改修していく。</li> <li>・社会開放用のトイレ設置と、屋外部室の改築については町の実施計画 (3 年間) に計上し整備を検討していく。</li> </ul> <p>なお、屋外部室の管理については、改築されるまでの間、教職員による定期的な見回り等を実施し安全を確保する。</p>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	02	教育振興費

## 2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい等により、支援を要する児童に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校3、児童数260人【20クラス（内特別支援5クラス）】</li> <li>・学力向上・特色ある学校づくり事業を各校の生徒に身につけたい力を事業内容とした実施に対し、各校 280,000円を上限に補助 （西小280,000円、宮小278,896円、大谷小280,000円）</li> <li>・小体連陸上（5/15）、水泳記録会（7/3）【参加児童105人】</li> <li>・海の子山の子交流事業 西五百川小学校⇄七ヶ浜町立汐見小学校</li> <li>・各校の教材備品、一般備品の購入713,448円</li> <li>・芸術鑑賞事業補助220,000円</li> <li>・準要保護対象者13人、特別支援教育就学奨励該当者6人</li> <li>・学習生活指導員（西小2人・宮小3人・大谷小3人）、読書活動推進員（1人）</li> <li>・宗生文庫基金による図書購入579,661円、年度末基金残高14,035,409円</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	18,178,000	決算額	17,060,472	差引額	1,117,528
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○各校とも学力向上・特色ある学校づくり事業を例えば総合学習における思考力を高める内容等それぞれ工夫を凝らし、また地域の方を講師とした学習の実施によりに効果があった。</p> <p>○学習生活指導員の配置により、複式学級・特別支援学級も含めきめ細かな学習指導を行うことができた。</p> <p>○読書活動の推進を図るため、図書のデータ管理を全小学校でしており、朝日町子ども読書活動推進計画に沿った各種施策を着実に実施できた。</p> <p>○読書活動推進員は、各小学校を巡回しながら学校図書室の環境整備や図書の紹介等による読書の推進、図書を活用した授業への支援を行い、図書室の利用及び図書の貸し出しが増えている。</p> <p>○ICT機器の活用によりわかりやすい授業が行われ、児童の学習意欲向上に寄与した。</p> <p>△特別な支援が必要な子どもへの対応を行う際には、保護者の理解や協力を得ていく必要がある。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も学力向上と地域の方々との関わりを通して特色ある学校づくり事業を継続していく。</li> <li>・少子化による複式学級の設置状況を踏まえ、引き続き学習生活指導員を配置し、きめ細かな学習指導を進めていく。</li> <li>・一人ひとりの実態に応じたきめ細かな学習指導を進めるため、特に低学年への対応を重視していく。</li> <li>・障がいを持つ特別な支援が必要な児童の保護者に対し、子どもの将来を見据えた指導等の必要性について、理解を得るために努力していく。さらには保護者、学校、行政が情報を共有し、協力を得られるべく努力していく。</li> </ul>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校教育振興費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

## 2. 事業の目的

事業の目的	教材の活用により分かりやすい授業が行われ、生徒の学習意欲向上を図る。 情緒障がいや知的障がい等により、支援を要する生徒に、きめ細かな学習支援を行う。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日中学校 生徒数 148 人【8 クラス(内特別支援2 クラス)】</li> <li>・学力向上・特色ある学校づくり事業を生徒に身につけたい力を事業内容とした実施に対し、上限額の 660,000 円を補助</li> <li>・教材備品及び一般備品の購入 812,712 円</li> <li>・県大会、東北大会、全国大会派遣 800,000 円</li> <li>・部活動補助 600,000 円</li> <li>・準要保護対象者 14 人</li> <li>・特別支援学級奨励対象者 4 人</li> <li>・学習生活指導員 2 人、読書活動推進員 1 人を配置</li> <li>・スクールカウンセラー2 人配置</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	12,201,000	決算額	11,037,878	差引額	1,163,122
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○学力向上・特色ある学校づくり事業を生徒が主体的に取り組む学びを通し、また地域の方を講師とした学習の実施により効果があった。</p> <p>○学校から要望のあった各種備品等を年度当初に購入し、授業での活用により、生徒の学習意欲の向上が図られた。</p> <p>○学習生活指導員の配置により、きめ細かな学習指導を行うことができた。</p> <p>○県大会、東北大会、全国大会への派遣補助により、生徒の意欲向上と保護者等の負担軽減を図ることができた。</p> <p>○読書活動推進員は、学校図書室の環境整備や図書の紹介等による読書の推進、図書を活用した授業への支援を行い、図書室の利用及び図書の貸し出しが増えている。</p> <p>○ICT機器の活用によりわかりやすい授業が行われ、生徒の学習意欲向上に寄与した。</p> <p>△不登校や保健室登校といわれる子どもたちを一人でも減らしていかなければならない。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も学力向上と地域の方々との関わりを通して特色ある学校づくり事業を継続していく。</li> <li>・引き続き学習生活指導員を配置していく。</li> <li>・一人ひとりの状況に応じた学習指導が求められており、保護者の理解と協力を得ながら対応していく。</li> <li>・不登校等の子どもたちには県のスクールカウンセラー事業を活用して、一刻も早い学校生活への復帰を促していく。</li> </ul>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	外国語活動推進事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	02	教育振興費

## 2. 事業の目的

事業の目的	小学校における国際理解と英語力の向上を図る。 中学校における英語教育（コミュニケーション能力）を充実する。
-------	--

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度からの小学校学習指導要領の改訂により、小学校3・4年生で外国語活動、5・6年で外国語が必修となることから、町単独のALTにJET事業のALTを加え2人体制にした。</li> <li>現ALTはアメリカの異文化体験活動を企画実施し、国際交流の進展にも寄与している。平成28年度から実施している中学生の海外派遣事業についても中心となって事業を行っている。</li> </ul> <p><b>【実施事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アメリカンBBQ 7/6 (小学生11人参加)</li> <li>・ハロウィン 10/20 (小学生40人参加)</li> <li>・中学生海外派遣事業 8/1～8/8 朝日中3年生8人 アメリカコロラド州ウィンザー市 アイジー基金を活用した事業 事業費3,603,192円</li> <li>・あさひ国際交流推進フォーラム 11/10 海外派遣事業の報告 講師 松田勝美氏 ワークショップ「世界の人たちと共有したい日本文化について考える」</li> </ul> <p>・【予算と決算の差引額が多い理由】新たなALTの雇用に伴う、時間外勤務手当ほかの経費が想定より少なかったため。</p>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	14,484,000	決算額	12,960,514	差引額	1,523,486
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○従前からのALTは来日以来16年間の実績を活用し、学校と連携しながら適切な指導ができています。</p> <p>○ハロウィンは子どもたちに人気があり日本の風土にもなじんでおり、小学生を対象とした国際交流事業も好評である。</p> <p>○中学生海外派遣事業が4回目となり、報告会としてあさひ国際交流推進フォーラムを開催した。これまでの派遣生や町内在住の外国人の方も参加し国際交流の理解を深めることができた。</p> <p>○令和2年度からの英語の教科化に伴い、新たなALTを雇用し外国語活動や英語教育の充実を図ることができた。</p> <p>○保小中連携一貫教育の推進として英語活動CAN-DOリストを作成した。年間を見通した英語力育成を目指したい。</p> <p>△国際交流事業「アメリカンBBQ」の参加者が少なかった。PR活動の工夫が必要である。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・CAN-DOリストに基づき、英語育成を図る。保育園や小学校低学年から英語に慣れ親しみ、抵抗感なく外国語活動へつながるようにする。</li> <li>・国際交流事業を通して、小・中学生が外国への関心を高めており、今後とも国際交流事業を強化していく。</li> <li>・ALT2人体制を継続し、外国語活動や外国語授業の質を向上させていく。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	小学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	02	小学校費
	目	03	学校給食費

## 2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・経費は、光熱水費、調理師代行、検査委託費等</li> <li>・自校炊飯を全校で実施 年間 180 日～190 日</li> <li>・給食の食材は保護者負担 1 食 280 円 令和元年 10 月以降の消費税率改正で食材は軽減税率（8%）対象なので直接的な影響はない</li> <li>・週 4 回米飯、1 回パンまたは麺類</li> <li>・献立作成会議を年 10 回開催</li> <li>・町独自の調理師資質向上研修会 2 回開催（調理師全員参加）</li> <li>・地産地消を目指し毎月 19 日をふるさと給食の日と定め地元の野菜や果物、農産加工品を提供</li> <li>・食物アレルギー対策として、個別に自校給食により対応した給食を提供（除去・代替えによる対応）</li> <li>・【予算と決算の差引額が多い理由】新型コロナウイルス感染症対策のため小学校の臨時休業に伴う給食に係る経費の減</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	7,533,000	決算額	5,582,259	差引額	1,950,741
-----	-----------	-----	-----------	-----	-----------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○1 件の事故もなく、バランスのとれた給食を提供することができた。</p> <p>△集中改革プラン（H17～21）で、給食の民間委託の検討を行うことが示されたが、その後の行革実現プランには「給食民間委託」は明文化なし。ただし、町全体として「民間委託の推進」は掲げているので、十分な協議が必要である。</p> <p>△食物アレルギー対策を現在も実施しているが、アレルギーの多様化や人数の増加により、個別での対応が複雑化している。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間委託の導入についても検討するが、当面は直営での給食を行っていく。</li> <li>・食物アレルギー対策として、これまでの就学時健診時におけるアンケート調査に加え、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を共通認識を持ち安全に提供するため給食に反映させる。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課学校教育係

事務事業名	中学校給食費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	03	中学校費
	目	03	学校給食費

## 2. 事業の目的

事業の目的	バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供し、健やかな子どもを育てる。
-------	-------------------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・副食給食を委託 11,989,996 円（複数年契約） 令和元年10月以降の消費税率改正に伴い変更契約を行う</li> <li>・給食の食材は保護者負担 食材1食210円 令和元年10月以降の消費税率改正で食材は軽減税率（8%）対象なので直接的な影響はない</li> <li>・食物アレルギー対策としては、除去による個別に対応した給食を提供</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	12,015,000	決算額	12,013,159	差引額	1,841
-----	------------	-----	------------	-----	-------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○1件の事故もなく、バランスのとれた副食給食を提供することができた。</p> <p>△食物アレルギー対策を現在も実施しているが、アレルギーの多様化や人数の増加により、対応が複雑化している。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食の提供にあたり、給食センター方式や自校給食又は業務委託があるが、当面は業務委託による副食給食方式を継続し、委託先の状況に応じて他の方式にも切り替えられるよう今後を見据えて対応していく。</li> <li>・食物アレルギー対策として、事前に小学校からのデータを引き継ぐことを基本とし、年度末に保護者からの申告による食物アレルギー調査を行い、その結果を共通認識を持ち安全に提供するための給食に反映させる。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	社会教育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

## 2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る。
-------	-------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員 7人 (男5人、女2人)</li> <li>・社会教育委員会の開催 (6/18、3/24)</li> <li>・社会教育委員会で協議した内容             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 朝日町社会教育の課題                 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 女性の社会参画の在り方 ② 子ども・若者の地域活動参画の在り方</li> <li>③ 社会教育関係団体の高齢化、担い手の偏り ④ 文化財の保護と活用 ⑤ 社会教育、社会体育施設の老朽化</li> </ul> </li> <li>(2) 課題に対応するための重点取り組み                 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 人材育成事業の推進 ② 地域社会による子育て、社会教育の推進 ③ 芸術文化活動の育成支援</li> <li>④ 文化財保存整備及び歴史や文化財に関する啓発活動等 ⑤ スポーツを通じた人材育成</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・山形県社会教育研究大会 10/11 4人参加 (酒田市)</li> <li>・社会教育機関負担金 (県社教連、県社教大会、山響)</li> <li>・社会教育団体活動補助金(子ども会育成連絡協議会 199,000円)</li> <li>・臨時職員賃金、共済費 (創遊館業務員)</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,561,000	決算額	2,327,000	差引額	234,000
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○社会教育委員会の開催は計画に沿って開催することができた。</p> <p>○社会教育委員会は、事業計画及び実施状況について、適正に助言している。時代の変化に合わせて社会教育に対する課題が変化してきており、対応が難しくなっている中、人口減少の中での社会教育の役割や目的などテーマを決めて意見交換を行うことができた。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員は、教育委員会に対する助言、意見を述べるなどの職務のために、先進的、優良事例の調査研究等を行い、社会教育委員会の活動の活発化を促し、当町社会教育に反映させる。</li> <li>・社会教育委員会の中で、テーマを決めた意見交換を行い、社会教育委員としての資質の向上に努める。</li> </ul>
---



## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化財保護費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

## 2. 事業の目的

事業の目的	町の文化財を掘り起こし、地域の宝として、守り伝える態勢を整え活用を図る。
-------	--------------------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財保護委員 5人(5人以内)</li> <li>・文化財保護委員会 (9/20)</li> <li>・文化財保護委員視察研修 (11/22) 西川町：西川町歴史文化資料館（旧川土居小学校）、岩根沢三山神社 本道寺口ノ宮湯殿山神社</li> <li>・指定文化財保護事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>佐竹家住宅管理費補助 113,000 円 (防火設備 75 千円、差し茅 38 千円)</li> <li>水口十一面観音堂管理費補助 34,000 円</li> <li>大沼の浮島整備補助 (東岸散策路整備、遙拝所復旧、水源地調査) 1,649,000 円</li> <li>大沼周辺整備 (水没木引揚、散策路清掃、案内板設置) 490,800 円</li> <li>角田流獅子踊 (大谷・八ツ沼) 伝承補助 100,000 円</li> <li>豊龍の大スギ (スズメバチ駆除) 10,000 円</li> </ul> </li> <li>・旧三中分校施設管理委託 (八ツ沼区) 100,000 円</li> <li>・文化財等保護調査 (ハッチョウトンボ)</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	3,223,000	決算額	2,605,395	差引額	617,605
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○町指定文化財については、所有者等と協議しながら保存整備を行うことができた。</p> <p>○大沼の浮島整備については、平成 30 年度に策定した今後 10 年間の整備の指標となる保存整備計画に基づいて令和元年度から計画的に整備を行うことができた。</p> <p>○大沼の浮島については、引き続き水源確保、水量・水質低下、ナラ枯れ等への対策が必要であるが、水源地調査により今後の整備の方向性を定めることができた。</p> <p>△文化財マップの活用や準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」を推進し、地域の宝を守り伝えていく心を醸成していく必要がある。</p> <p>△今後、所有者の引継ぎが必要となる個人所有の文化財の管理方法等について、話し合いをしていく必要がある。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度に設置した大沼浮島保存整備委員会において、計画実施の経過観察及び評価を行い、適宜見直ししながら保存・活用整備を適切に進めていく。</li> <li>・地域の宝を守り伝えていく心を醸成していくために、マップの活用や準文化財を登録する「朝日町ふるさと文化財制度」を今後も推進し、公民館連絡協議会や区長会等において、周知を図る。</li> <li>・所有者の引継ぎが必要となる個人所有の文化財の保護や管理等について、所有者、後継者との話し合いを進めていく。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	町史編さん費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

## 2. 事業の目的

事業の目的	町の歴史を正しく理解し、後世に伝える。
-------	---------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町史編さん専門員2人を配置</li> <li>・町史及び町史資料頒布</li> <li>・朝日町文化財マップ増刷(1,000部) 220,000円</li> <li>・文化財保護、民具の利活用等 創遊館フォーラムにて実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>①「田畑で使用した民具」6/15～7/6</li> <li>②「冬季に使用した民具」2/3～2/12</li> </ul> </li> <li>・朝日町郷土史研究会</li> <li>・ふるさと歴史教室「古文書講座」～古文書から見る暮らし～ 11/7～12/12 計6回 (受講者5人/延べ20人)</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位:円)

予算額	2,861,000	決算額	2,813,714	差引額	47,286
-----	-----------	-----	-----------	-----	--------

## 5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○町史編さん専門員による、町史関係資料の収集ができた。収集・解読中の資料を朝日町史編集資料第35集発行に向けて編集中。</p> <p>○古文書、歴史資料をまとめた町史や町史編集資料の頒布や古文書講座の開催は、広く町民に伝えることにつながっている。</p> <p>△町内の民俗文化財に対する調査が遅れており、伝承できる人や貴重な資料が減少する前に調査する必要がある。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して、古文書、歴史資料をまとめ町史編集資料の作成業務を行う。</li> <li>・古文書講座は、様々な対象者を想定し開催時期や時間など工夫しながら実施していく。</li> <li>・エコミュージアム協会と連携し、民俗文化財の調査体制を整備する。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	青少年健全育成推進事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	01	社会教育総務費

## 2. 事業の目的

事業の目的	家庭、学校、地域が一体となった町全体の共通目標を掲げ、町民全体による子育てを推進する。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年育成町民会議（委員 22 人） 総会 7/23 青少年育成町民大会 11/29 約 200 人（あさひ教育の日との連携事業） 記念講演：『みんなであさひっ子の生活習慣を考えよう～早寝早起き朝ごはん～』 講師：静岡産業大学副学長・経営学部教授 小澤 治夫 氏</li> <li>・青少年指導センター（委員 17 人） 会議（5/28）、街頭指導（8/31、3/3～5【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】）、研修会（11/29）</li> <li>・青少年育成推進員活動（委員 7 人） 会議（5/28、※3 月予定→新型コロナウイルス感染症対策のため中止）、青少年事業への活動補助 「わくわく体験事業」竹箸・うどん・りんごゼリー作り（11/17）参加者 5 人</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	737,000	決算額	662,753	差引額	74,247
-----	---------	-----	---------	-----	--------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○青少年の健全育成を推進する団体が協力し合い、青少年育成町民大会を開催し、町民に青少年の健全育成についての共通目標を周知し、現在の子どもの抱える問題や解決策についての役割等について確認できた。</p> <p>△街頭指導では特に目立った事項は見当たらなかったが、単純な目に見える非行から、SNS やインターネットを利用した見えない非行へ変わっており、学校・家庭だけでなく地域全体で子どもたちの「生きる力」を育む必要がある。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題、課題の変化に対応するため「青少年育成町民会議」の在り方や「青少年育成町民大会」の開催内容について見直し、その内容で実施する。</li> <li>・青少年指導センターが見守っていることの啓発活動として、登下校時の学校訪問等による街頭指導を継続して行っていくとともに、あさひ教育の日推進事業など学社連携により、町民一人ひとりが教育に対する関心と理解を深め、地域全体で子どもたちを観ていく機運を高めていく。</li> </ul>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	自治公民館整備事業費
-------	------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	02	中央公民館費

## 2. 事業の目的

事業の目的	生涯学習の振興を図る拠点施設である自治公民館の整備に助成する。
-------	---------------------------------

## 3. 事業の実施状況

・自治公民館整備事業費補助金	
① 八ツ沼公民館（エアコン設置）	630,000 円（補助率 40%）
② 立木公民館（屋根改修）	180,000 円（補助率 50%）
③ 大隅公民館【新築】	18,403,000 円（補助率 80%）
④ 大滝公民館（外装改修）	404,000 円（補助率 50%）
⑤ 真中公民会（照明器具改修）	178,000 円（補助率 50%）
⑥ 高田公民館（屋根改修）	254,000 円（補助率 50%）
⑦ 大谷五公民館（屋根塗装）	108,000 円（補助率 30%）
⑧ 大谷一公民館（床改修）	78,000 円（補助率 40%）

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	20,235,000	決算額	20,235,000	差引額	0
-----	------------	-----	------------	-----	---

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○自治公民館整備事業補助金交付規程の見直しを行い（平成 29 年 4 月 1 日改正）、各公民館の整備に関する相談に応じて支援することができた。</p> <p>△昭和に建築された自治公民館が多く老朽化に伴い改修や改築等が必要な公民館が多くなってきていると共に、各集落とも高齢化率が高くなってきており、安全で安心して利用できる公民館が望まれている。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区からの要望をできるだけ早い段階で把握し、支援漏れのないよう制度の周知徹底を図っていく。</li> <li>・自治公民館建築事業補助金交付規程に基づき計画的に支援を行ないつつ、問題や課題を把握していく。</li> </ul>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	中央公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央兼中部公民館運営審議会 (3/26)</li> <li>・家庭教育           <ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館事業…やまがた子育て講座 (6/8 宮小300人、10/25 西小110人、11/19 大谷小26人、7/26 朝日中200人)</li> <li>あさひ家庭教育学級 (あさひ保育園 4回 親子延べ426組)</li> </ul> </li> <li>・青少年教育           <ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館事業…成人式: 4/29 参加者66人 (対象76人)</li> <li>ボランティア育成 (中学生…きらり 11人、高校生…JOKER 8人: ふれあい育児体験、ふれあい荘夏祭等)</li> <li>中部公民館事業…子ども会育成事業 (第27回綱引き大会 3/20 新型コロナウイルス感染症対策のため中止)、中部キッズクラブ (12/14 参加者10人)</li> </ul> </li> <li>・女性教育           <ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館事業…女性文化教室 10教室 (各教室9~11回/延べ96回) 参加者141人、女性まつり (第40回記念) 2/23 約100人 生涯学習推進大会に合わせて開催</li> </ul> </li> <li>・成人教育           <ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館事業…ふるさと歴史教室「古文書講座」【再掲】11/7~12/12 計6回 (受講者5人/延べ20人)</li> <li>朝日町子ども会育成連絡協議会研修会 11/29 約30人 (青少年健全育成町民大会 200人のうち)</li> <li>第32回生涯学習推進大会 2/23 各種表彰、ステージ発表、展示、講演「田中史朗 (プロダクトデザイナー)」 約500人</li> </ul> </li> <li>・自治公民館           <ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館事業…町自治公民館長・主事研修 (白鷹町深山: のどか村) 9/12 参加者39人</li> <li>公民館報発行奨励金交付事業 16館、自治公民館研修会等共催支援事業3館</li> <li>中部公民館事業…自治公民館長・主事研修 (at lounge) 6/26 31人</li> </ul> </li> <li>・高齢者教育           <ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館事業…高齢者大学代表者会議 (秋葉山交遊館) 2/27</li> <li>中部公民館事業…寿大学 (講話等3回 社会学習1回 延べ253人)</li> </ul> </li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	1,815,000	決算額	1,663,963	差引額	151,037
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○町民ニーズに合った事業展開を行うことができた。</p> <p>○生涯学習推進大会は、ミズノ連携事業 (2回目) でタイムリーな「田中史朗氏トークショー」を組入れ、多くの町民から参加いただき盛況であった。</p> <p>△固定された参加者が多くなり、新たな参加者を増やしていく必要がある。</p> <p>△今後も公民館職員だけでなく、住民参画の企画・運営を進めていく必要がある。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の充実を図るため、幼少期から高齢期まで幅広く町民の学ぶ機会を提供するとともに、町民のニーズや町民の声を生かした企画を進めながら、事業を見直していく。</li> <li>・子育てに忙しい年代や、成人男性のニーズに応える学ぶ機会をつくる。</li> </ul>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館運営審議会及び健康増進センター管理運営審議会 (5/31、3/27)</li> <li>・青少年教育…いもがわ少年教室 4回 54人 <ul style="list-style-type: none"> <li>…子ども会交流事業 1回 35人 (2回目は新型コロナウイルス感染症対策のため中止)</li> <li>…青年教室 2回とも中止</li> </ul> </li> <li>・女性教育…楽笑楽生こうざ 3回 29人</li> <li>・成人教育…陶芸教室 2回 17人 <ul style="list-style-type: none"> <li>…筆ペン講座 1回 7人</li> <li>…そば打ち教室 1回 10人</li> <li>…チャリティーグラウンドゴルフ大会 10/19 参加者 60人</li> <li>…自治公民館長主事研修会 6/16 29人</li> <li>…第26回西部地区スポーツフェスティバル 8/25 521人参加 (ソフトボール、グラウンドゴルフ、インディアカ、ビーチバレーボール、輪投げ)</li> </ul> </li> <li>・高齢者教育…高齢者教室(高砂大学) 4回 16人 延べ54人</li> <li>・第55回朝日町芸術文化祭展示発表会 11/2～3 約189人(来場者)</li> <li>・「西部公民館だより」発行 5回(5/16、7/16、8/30、10/1、1/1)</li> <li>・西部区長会や子ども会育成協議会など7団体の事務局担当</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	508,000	決算額	470,767	差引額	37,233
-----	---------	-----	---------	-----	--------

## 5. 事業の評価(成果と課題)

<p>○女性対象の楽笑楽生こうざは、長年継続している事業であり、参加者から好評を得ている。また、子ども会交流事業と併せて宿泊体験を実施しているが、普段できない体験ができるため、参加者や保護者、西五百川小学校から好評を得ている。</p> <p>○西部地区スポーツフェスティバルは、西部地区自治公民館連絡協議会が主催し、各地区から大勢が参加する事業であり、西部地区の住民がスポーツとレクリエーションをとおして、地域の活性化と相互の親睦を深める機会となっている。</p> <p>○事業の周知方法等の見直しで、新たに組回覧を実施した結果、西部地区内からの新規参加者が若干だが増えている。</p> <p>△高齢者教室(高砂大学)は参加者から好評を得ているが、新規参加者の確保が難しく、参加者が減少している。</p> <p>△町民ニーズに応える事業を実施しようとするが、町民の関心が多岐にわたり、応えることが難しい。</p> <p>△青年教室(フットサル交流会)は2回開催を予定していたが、フットサル競技人口の減少により参加チームが少なく開催できなかったため、代わりとして、成人教室でそば打ち教室を開催した。しかしながら、青年事業のあり方については、今後とも検討していく必要がある。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の周知方法・回数等を見直し、新規参加者を増やす。</li> <li>・町民ニーズの把握に努め、事業内容や開催方法の見直しを行う。</li> <li>・地区最大のイベント、スポーツフェスティバルは、各自治公民館と他の地区との交流を促進する機会となっており、継続開催していく。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館事業費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館運営審議会 (5/16, 3/10)</li> <li>・青少年教育…ドキドキ探検隊 隊員 17 人 達人倶楽部 20 人 延べ隊員 100 人 延べ達人倶楽部 49 人 参加 (流しそうめん、カヌー、ハイキング、中華めん打ち、夏・冬キャンプ等 8 回) ※3 月に実施予定だった長巻寿司づくりは新型コロナウイルス感染症対策のため中止 …子ども会育成会事業 「交通安全教室」 15 人 「蜜ろうキャンドルでガラスキャンドルをつくろう」 9 人 ※少雪のためスノー作りを変更して実施</li> <li>・高齢者教育…睦大学 4 回 90 人 延べ 282 人</li> <li>・成人教育 …自治公民館連絡協議会 館長主事等研修会 1 回 28 人 …第 15 回北部地区レクリエーション大会 9/8 (グラウンドゴルフ、ソフトボール、ビーチボールバレー、輪投げ) 420 人 …そば打ち教室 2 回 12 人 延べ 16 人 …いきいき元気すっきり体操教室 2 回 19 人 延べ 33 人 ※3 月は新型コロナウイルス感染症対策のため中止 …デコパージュ教室 2 回 29 人 延べ 30 人</li> <li>・女性教室 …蜜ろうでハンドクリームをつくってみよう 1 回 19 人</li> <li>・第 55 回朝日町芸術文化祭 秋葉山交遊館展示発表 来場者 約 300 人</li> <li>・秋葉山交遊館 ロビー開放 (冬季) …1/14(火)~3/19(木)の火曜日と木曜日 計 19 日間 16 人 (※常にロビーは開放しているが、この期間は暖房をつけて開放)</li> <li>・その他、共催事業等 …ひまわりサロン (高齢者等の交流居場所づくり) 活動支援、 …交遊たのしい子ども教室 (生け花体験等) 共催 …秋葉山さくら回廊等整備作業 (6/9, 6/30, 8/21, 9/28)、計画意見聴取 (10 月北部区長会にて) (農林振興課にて、桜等 65 本植樹、遊歩道木片チップ敷き、間伐を実施)</li> <li>・「北部公民館だより」発行 5 回 (4/16, 8/1, 9/13, 12/27, 1/31)</li> <li>・北部区長会や子ども会育成協議会など 5 団体の関係団体事務局担当</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位: 円)

予算額	503,000	決算額	345,412	差引額	157,588
-----	---------	-----	---------	-----	---------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○青少年事業の「ドキドキ探検隊」は、野外活動を多く取り入れ、日頃できない体験が出来て参加者や保護者、大谷小学校より好評を得ている。また、地域の大人達で組織する「ドキドキ探検隊達人倶楽部」が企画、運営を担っており、世代間交流や地域の子どもの地域で育てる取組となっている。</p> <p>○高齢者の事業として、「睦大学」を行っており、向学心や探究心も衰えず、会員同士の交流にもつながっている。</p> <p>○北部地区レクリエーション大会は北部地区自治公民館連絡協議会が主催し、北部地区民が一堂に集い、レクリエーションを通じて健康な身体の維持促進を図り、笑顔が絶えない活力ある地域づくりを目指す機会となっている。</p> <p>△睦大学について65才以上を対象としているが、その中の若い年代の方の参加割合が少なく課題である。</p> <p>△成人教育としてデコパージュ教室を開催したが、女性の参加者のみとなり、性別を問わず幅広い年代から参加者が集まる事業の検討が課題である。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の内容を見直ししながら、更に青年層の事業、世代間交流事業を充実し、事業参加者数の増加と、各年代の学びの機会提供、地域の活性化につなげていく。</li> <li>・北部地区レクリエーション大会は、各自治公民館と他の地区との交流の場となっており、継続していく。</li> <li>・成年層の事業を各種行いながら、60 代の学びと社会参加の場の確保にもつなげていく。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	創遊館管理費
-------	--------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	07	創遊館費

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝日町エコミュージアムコアセンター創遊館（平成12年5月完成）</li> <li>・管理、各種設備、機器等の委託 夜間休日管理、清掃業務、エレベーター点検、空調設備、ピアノ保守管理、ホール管理、自動ドア、警備保障、舞台装置、特殊建築物定期報告、環境衛生・貯水槽清掃</li> <li>・修繕、工事 経常的な施設・設備・機械器具等の軽微な修繕 914,835 円 空調設備改修工事監理業務委託 5,390,000 円 電気設備改修工事実施設計業務委託 5,390,000 円 創遊館空調設備改修工事 176,000,000 円（KHP→GHP 更新、全熱交換器更新、排熱交換機撤去） 1階女子トイレ洋式化改修工事 1,300,000 円（3,300,000 円のうち2,000,000 円は明許繰越）</li> <li>・芝生広場の管理ほか</li> <li>・創遊館の貸出 R1年度 利用件数1,309件 利用人数20,421人（町民1人当たりの利用回数3.06回）（6,662人） H30年度 利用件数1,608件 利用人数26,154人（町民1人当たりの利用回数3.83回）（6,811人） H29年度 利用件数1,530件、利用人数23,813人（町民1人当たりの利用回数3.39回）（7,020人） ※町民1人当たりの利用回数＝利用人数／年度末日現在の人口（他も同様）</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	212,689,000	決算額	207,692,518	差引額	4,996,482 (うち2,000,000繰越)
-----	-------------	-----	-------------	-----	------------------------------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○経年劣化により創遊館施設の各所に故障や傷みが出てきているため、特に著しい劣化が見られるものや緊急性の高いものから改修している。</p> <p>○中長期修繕計画に基づき、最も早急な対応が必要な空調設備を改修することができた。</p> <p>△電子機器の経年劣化による不具合の発生や、年数の経過による供給を受けられない部品や機械が出始めているため、中長期修繕計画に基づき修繕を進める必要がある。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に劣化診断結果をもとに策定した中長期修繕計画に沿って、今後も計画的な施設修繕を行っていく。</li> </ul>
--



## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課西部公民館

事務事業名	西部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	03	西部公民館

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・西部公民館（平成4年2月完成）、健康増進センター（昭和60年8月完成）、西部地区総合運動場（グラウンド：昭和62年3月完成）、熊ノ山農村公園（見晴らしの丘：平成15年3月完成）、西部地区コミュニティ広場（旧公民館跡地：平成7年11月完成）の5施設の管理</li> <li>・屋内施設：随時の清掃、維持、夜間警備委託</li> <li>・屋外施設：芝刈りや除草等維持管理。雪囲いや芝刈り、草刈りなどを、シルバー人材センターに委託している。熊ノ山農村公園の芝生は、グラウンドゴルフを楽しむ地元愛好会の皆さんから草取り作業など奉仕活動いただいている。また、コースの設定管理についても協力して頂いている。</li> <li>・年間利用者：R1年度 西部公民館 1,709人、健康増進センター 3,982人、西部地区総合運動場 924人、熊ノ山農村公園 5,371人、計 11,986人 (町民1人当たりの利用回数1.80回) (6,662人) (H30年度 西部公民館 1,999人、健康増進センター 4,918人、西部地区総合運動場 1,829人、熊ノ山農村公園 5,869人、計 14,615人 (町民1人当たりの利用回数2.15回) (6,811人))</li> <li>・西部公民館玄関鉄骨塗装塗替え 388,800円</li> <li>・西部公民館フローアーステンジ入替工事 295,920円</li> <li>・西部公民館トレーニング室入口白蟻食害改修工事 270,000円</li> <li>・西部公民館駐車場側溝補修外工事 297,000円</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	4,952,000	決算額	4,339,867	差引額	612,133
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

○地区民や関係団体の自発的な奉仕活動による維持管理の協力を頂きながら、適切な管理業務を行った。  
△施設の老朽化とともに、不具合が生じている。また、予定外の修繕も発生するため、対応に苦慮している。

## 6. 事業の方向性

・施設の老朽化に伴い、緊急性のあるものから計画的に修繕を行い、施設の長寿命化を図る。

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課北部公民館

事務事業名	北部公民館管理費
-------	----------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	04	北部公民館

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民が安全で利用しやすい施設の環境整備を図る。
-------	-------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋葉山交遊館・芝生広場（平成7年7月完成）、北部体育館（昭和54年3月完成）、大谷地区運動広場（昭和62年完成）</li> <li>・屋内施設：随時の清掃、維持、夜間警備委託（170,040円）</li> <li>・屋外施設：芝刈りや除草、樹木剪定、枝打等維持管理。一部、シルバー人材センター等に委託（367,720円）。</li> <li>・秋葉山交遊館 外灯LED化工事 236,520円</li> <li>・秋葉山交遊館 ホール外部改修工事 1,276,000円</li> </ul>			
・利用者数・件数：			
・交遊館の貸出	R1年度	利用件数 297件、利用人数 6,066人（町民1人当たりの利用回数0.91回）	(6,662人)
	H30年度	利用件数 300件、利用人数 4,409人（町民1人当たりの利用回数0.64回）	(6,811人)
・トキメキ体験館	R1年度	利用件数 9件、利用人数 88人（	” 0.01回）(6,662人)
	H30年度	利用件数 12件、利用人数 126人（	” 0.02回）(6,811人)
・多目的広場	R1年度	利用件数 106件、利用人数 3,534人（	” 0.53回）(6,662人)
	H30年度	利用件数 106件、利用人数 3,451人（	” 0.50回）(6,811人)
・北部体育館	R1年度	利用件数 110件、利用人数 1,902人（	” 0.28回）(6,662人)
	H30年度	利用件数 81件、利用人数 1,542人（	” 0.23回）(6,811人)
・秋葉山グラウンド	R1年度	利用件数 62件、利用人数 1,360人（	” 0.20回）(6,662人)
	H30年度	利用件数 52件、利用人数 1,385人（	” 0.20回）(6,811人)
・合計	R1年度	利用件数 584件、利用人数 12,950人（	” 1.94回）(6,662人)
	H30年度	利用件数 551件、利用人数 10,913人（	” 1.60回）(6,811人)

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	5,988,000	決算額	5,011,003	差引額	976,997
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<ul style="list-style-type: none"> <li>○施設の維持管理の協力として、地区民から自発的に奉仕作業をいただいている。</li> <li>○木製遊具やテニスコート、屋外バスケットコートなど、幼児、子ども達が利用している。</li> <li>○多目的広場では、地区民のグラウンドゴルフ利用が多く、各区大会や日常の練習等で利用されている。</li> <li>△施設完成から20年を超え、老朽化が進んでおり、修繕の必要な箇所が増えてきている。</li> </ul>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、施設点検を行うとともに、施設の老朽化や修繕必要箇所について、緊急性の高いものから計画的に修繕して、安全で安心して利用しやすい施設を維持していく。</li> </ul>
--

1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	放課後子どもプラン事業費
-------	--------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

2. 事業の目的

事業の目的	放課後の子ども達の安心安全な居場所づくりを行う。
-------	--------------------------

3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室推進事業の実施 コーディネーター2人配置 きらきらスクール（宮小） 60日（土日：1日）、延べ 443人 放課後サポーター 20人 のびのびスクール（西小） 103日（土日：4日）、延べ3,723人 放課後サポーター 16人 どきどきスクール（大谷小） 113日（土日：8日）、延べ1,519人 放課後サポーター 22人</li> </ul>
---

4. 予算額・決算額

（単位：円）

予算額	1,376,000	決算額	1,153,895	差引額	222,105
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○町内の3つの小学校で年間を通して開設。学校との連絡調整を密にした運営体制が構築されており、サポーターによる放課後の安全な居場所が確保された。</p> <p>△コーディネーターによるサポーターの調整や業務の負担が増える傾向にある。</p>
--

6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポーターの確保とサポーター同士のつながりを強化していく。</li> <li>・コーディネーターの増員により負担を軽減し、継続できる活動内容としていく。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	つながりで育てる人材育成事業
-------	----------------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育総務費
	目	02	中央公民館費

## 2. 事業の目的

事業の目的	自主的に活動する人材・団体を育成し、行政とともに地域づくり、まちづくりを推進し町民生活に寄与する。
-------	---

## 3. 事業の実施状況

<p>「Newアクション事業」の実施 応募団体 1 団体</p> <p>【アクション継続資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・星の会 代表 成原千枝氏 (10 人) チャレンジ3年後の2年目 補助金 400,000 円 古民家で民話による地域おこしを行ない、交流人口の拡大につなげる R1 年度：8 事業、来場者数 317 人 (3 月実施予定の2事業は新型コロナウイルス感染症対策のため中止) H30 年度：9 事業、来場者数 1,579 人 ※H30 年度に好評だった「ちりめん細作品展 (来場者 860 人)」や「朝日町のひなかざり展 (来場者 280 人)」が新型コロナウイルス感染症対策等のため実施できず、年間来場者数が減少している</li> </ul> <p>「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」への募集 参加者なし (問合せ1件：高校1年生)</p>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	400,000	決算額	400,000	差引額	0
-----	---------	-----	---------	-----	---

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○町や地域の活性化や課題を考え、様々な視点からの活動を行い、町づくりに寄与する事業となった。</p> <p>△本事業は、3 年まで継続事業についての支援としており、3 年間支援を受けたグループが自立した活動へつながるような支援を検討し、条件を付加しさらなる継続を可能とした。今後も支援団体の状況を見ながら、単なる事業補助ではなく人材育成という本来の目的を重視する「Newアクション事業」として実施していく必要がある。</p> <p>△「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」は、周知したが参加希望者なし。毎年の参加希望は難しい状況であり、改善していく必要がある。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな取り組みにチャレンジしようとする町民が、実際の活動につなげられるよう New アクション事業を通して支援していく。</li> <li>・事業の周知を図るため周知方法を工夫し、呼びかけや効果的なPRを行う。</li> <li>・今後も若い世代の人材育成を図るため、「高校生のための日本の次世代リーダー養成塾」だけでなく、高校生を対象とした事業に派遣するとともに、結果を広く中学生や高校生に伝えられる場づくりを検討する。</li> </ul>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	図書館費
-------	------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	05	図書館費

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民が学習や生活に役立つ情報や知識を得ることができ、楽しい生活の場とするため図書館運営を行なう。
-------	--

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立図書館管理運営 臨時職員4人配置</li> <li>・利用登録者 4,403人、うち町外564人 (H30 登録者4,340人 うち町外547人)</li> <li>・1日平均貸出約49冊 (H30 54冊)、1日平均利用者数約17人 (H30 17人)</li> <li>・図書資料収集・蔵書数40,813冊/R1末 (42,535冊/H30末)</li> <li>・蔵書点検 11/18～25</li> <li>・移動図書事業 5月～2月 (8月・9月は除く) 大谷小 (16回 月2回)</li> <li>・団体貸出 2団体 りんごっこクラブ (年8回・400冊)、あさひ保育園 (年9回・180冊)</li> <li>・ブックスタート事業 (年6回) 絵本のプレゼント、絵本の読み聞かせ</li> <li>・おはなし会事業 5月～3月 (毎月第2土曜、12月・1月除く) 7回 おはなし会「ぶなの実」と共催 ※9月は創遊館改修工事、3月は新型コロナウイルス感染症対策のため未実施</li> <li>・12/7 (土) クリスマス子どものつどい 76人 (子ども53人、大人23人)</li> <li>12/7 (土) 古本プレゼント232冊 60人</li> <li>12/8 (日) 夜の図書館～ゆき・もみの木・ましろのころ～ 44人</li> <li>・ブックテーマコーナー開設 (毎月) 月毎にテーマを設定し本の紹介</li> <li>・子育て支援コーナー設置 (図書冊数180冊、貸出冊数240冊)</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	6,661,000	決算額	6,444,552	差引額	216,448
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○図書館の利用者数を増やしていくため、毎月ブックテーマの設定、おはなし会等を実施することができた。</p> <p>○幼児期から本に親んでもらうため、ブックスタートでの絵本贈呈等の活動を実施することができた。</p> <p>○移動図書事業については、低学年と高学年に分けて実施したことで、より子どもたちの図書に親しむ機会の充実に寄与することができた。</p> <p>△図書館利用の促進については、選本等の吟味・工夫が必要である。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立図書館等との連携強化や各種研修会への参加による職員の資質向上を図り、多様な町民ニーズへ対応していく。</li> <li>・学校の図書室や読書活動推進員との情報交換によるニーズ把握等により、選本の吟味と工夫を凝らした図書館利用につなげていく。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	文化振興費
-------	-------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	社会教育費
	目	06	文化振興費

## 2. 事業の目的

事業の目的	地域を活かした朝日町らしい芸術文化活動を高める。
-------	--------------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術文化祭 町芸術文化協議会支援 (30 団体、2 個人) 11/2～3 第 55 回芸術文化祭 (展示 11 団体、ステージ発表 9 団体、他 5 団体) 11/3 移動芸能発表 (和合友和館) 5 団体</li> <li>・「美の探訪」11/11 高島方面 23 人</li> <li>・創遊館展示 (ギャラリー) やまがた百名山 (6/17～7/7)、芸文祭 (11/2～13)、女性まつり (2/23)、教科書展示 (6/3～13)、 ぶなの実 45 周年 (11/29～12/8)、楯岡特別支援学校大江校作品展示 (12/13～12/24) エコミュージアムサテライトフォトコンテスト (3/1～4/5)</li> <li>・ホール事業「百歌繚乱シュガーシスターズコンサート」(1/25) 300 人</li> <li>・中央公民館「文化講座」5 講座 参加者 43 人 (12/5 (AM・PM)、12/13・20、12/14、1/22、3/7 【新型コロナウイルス感染症対策のため中止】) 「親子講座」(1/11) 4 組 (9 人)</li> </ul>
---

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	2,362,000	決算額	2,127,090	差引額	234,910
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価 (成果と課題)

<p>○2 年目となる文化講座は、前年度参加者の意見を参考とした講座の開催や講座数を増やせたことにより、申込者数の増 (61 人→73 人) につながった。</p> <p>△町芸術文化協議会加盟団体を構成している会員の高齢化や減少に伴い、芸術文化祭の展示品や準備者の確保が年々難しくなっている。</p> <p>△ギャラリーの活用がなかなか進まないが、今ある体制では難しい実情がある。</p> <p>△ホール事業については、単年度での運営が難しいため「ニーズ把握、アーティストの依頼時期、チケット販売」等を町民参画で検討する必要がある。</p>
---

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・くらしに彩りを添えられる「文化講座」となるよう、今後もニーズに沿った講座を企画していく。</li> <li>・芸術文化協議会をはじめ関係者との検討を深め、新たな体制や運営を考える。</li> <li>・ギャラリーの活用については、切れ目なく展示会等を開催できるよう情報収集を強化していく。</li> <li>・ホール事業について、町民参画の方法等について検討していく。</li> </ul>
---

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	保健体育総務費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	04	保健体育費
	目	01	保健体育総務費

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民が生涯スポーツ活動に取り組める。
-------	--------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員の設置（委員8人）</li> <li>・町民登山、町民グラウンドゴルフ大会など町体育協会主催の各種大会への支援（体育協会加盟団体14団体、会員数520人）</li> <li>・第36回アップル町民駅伝競走大会の開催（10/13開催・10チーム参加予定だったが台風19号の影響により中止）</li> <li>・県縦断駅伝ほか蔵王坊平Jr駅伝競走大会・クロスカントリー大会、西村山地区駅伝競走大会への支援</li> <li>・ミズノ連携事業 朝日町総合型スポーツクラブ（Jr.マラソンクラブ）や町スポ少への講師派遣（6/29、2/8） 小学校走り方教室（4/23）、泳ぎ方教室（6/13） 中学校コンディショニング教室（2/6）</li> <li>・全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金の交付（個人5件、団体2件）145,000円</li> <li>・アップル町民駅伝競走大会出場チームへの支援 250,000円（10チーム）</li> <li>・町体育協会への各種スポーツ大会の運営委託 930,000円</li> <li>・総合型地域スポーツクラブ運営支援（5教室（7コース）60人、Jr.マラソンクラブ15人） 補助金1,600,000円</li> <li>・スポーツ少年団の育成、支援（9団体 団員数110人） 補助金250,000円</li> <li>・モンテディオ応援バス借上げ補助 29,000円（大人17人、高校生以下3人）</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	6,808,000	決算額	6,239,118	差引額	568,882
-----	-----------	-----	-----------	-----	---------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○体協主催の各種大会、スポ少活動、総合型地域スポーツクラブなどの運営支援を行い、スポーツに取り組める機会を提供することができた。</p> <p>○各種スポーツ団体や大会の運営、全国大会出場者に対する支援を行い、町民のスポーツ振興に努めることができた。</p> <p>△町民の多様なニーズに対応したスポーツに触れられる機会や施設等の環境が整わない。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・従来の生涯スポーツの推進に加え、「健康づくり」をテーマとした親しみやすい事業を検討する。</li> <li>・各種スポーツ団体への支援と各種大会運営に対する支援、全国大会に出場する競技成績優秀者への激励金等を継続していく。</li> <li>・町民が気軽にスポーツに取り組めるよう、既存施設を活用しながら用具等の整備を中心に進め、必要な施設や環境の整備を行なう。</li> <li>・「ミズノとの連携事業」は町全体で推進しており、各部署で連携内容を検討し様々な事業を展開している。教育委員会においても、小中学校での運動教室の開催や総合型スポーツクラブのJr.マラソンクラブ、家庭教育学級への講師派遣等を行っており、今後も多様な事業を展開できるよう連携を強化し検討していく。</li> <li>・スポーツ振興基金は、取り崩しせずに利子を積み立てていく。</li> </ul>
--

## 事務事業点検・評価調書

## 1. 事務事業名

所管課・係 教育文化課生涯学習係

事務事業名	体育施設管理費
-------	---------

予算 科目	款	10	教育費
	項	05	保健体育費
	目	02	体育施設費

## 2. 事業の目的

事業の目的	町民が利用しやすい施設運営をする。
-------	-------------------

## 3. 事業の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民体育館の管理委託 2,140,171 円、清掃業務 56,160 円          一般利用人数：R1 8,459 人（町民 1 人当たりの利用回数 1.27 回）                          H30 8,754 人（町民 1 人当たりの利用回数 1.28 回）          他中体連、新人戦強化練習にて使用</li> <li>・緑が丘公園町民プール【7/13～7/15、7/19～8/18】管理監視業務委託 4,644,000 円、ろ過機保守点検 32,400 円）          利用数 2,024 人 中学生以下 1,524 人、高校生以上 500 人（H30 2,365 人）          （町民 1 人当たりの利用回数 R1：0.30 回、H30：0.34 回、H29：0.26 回）</li> <li>・夜間照明（管理業務委嘱）9,000 円          中学校及び朝日町野球連盟、Jr マラソンクラブにて使用</li> </ul>
--

## 4. 予算額・決算額

(単位：円)

予算額	12,752,000	決算額	11,511,591	差引額	1,240,409
-----	------------	-----	------------	-----	-----------

## 5. 事業の評価（成果と課題）

<p>○各体育施設の利用者の増減</p> <p>町民体育館 3月中は新型コロナウイルス感染症対策のため、使用を制限せざるを得なかったことから、前年に比べ団体利用者は大きく減少したものの、個人利用者は前年より増加している。</p> <p>町民プール 過去の実績を検証し、営業日数を前年度 41 日間から 34 日間に見直したものの、一般利用者数は増加している（1170 人→1294 人）が、小中学校における授業での利用が減ったため、シーズン合計では減少となっている。</p> <p>夜間照明 平成 30 年度照明改修工事を実施したことにより、野球チーム、スポーツ少年団、Jr マラソンクラブ等で以前と同様に使用可能となった。</p> <p>○常に安全な施設管理を行うように努め、町民のスポーツ活動支援に寄与することができた。</p>
--

## 6. 事業の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設及び備品の現状把握に努め、実施計画に基づき計画的に管理、整備をしていく。</li> </ul>
---



---

令和2年度 朝日町教育委員会「事務事業点検・評価報告書（令和元年度分）」

令和2年8月

〒990-1442

山形県西村山郡朝日町大字宮宿 2265 番地

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」内

朝日町教育委員会 教育文化課

電話 0237-67-2118 Fax 0237-67-3375

---